

# 平成 23 年度一般会計当初予算 まちの主な事業

## 総務課

- ▼防災一般管理（39万円）＝災害用物資および新型インフルエンザ感染防護服の備蓄
- ▼鳥取県知事選挙（483万円）
- ▼町議会議員選挙（622万円）
- ▼消防一般管理（1,120万円）＝耐震性防火水槽設置（上本郷、上上菅）

## 企画政策課

- ▼若者定住支援（4,185万円）＝若者向け住宅（4戸分予定）を建設
- ▼生活交通確保支援（300万円）＝公共交通機関利用困難者を対象にタクシー運賃補助
- ▼元気なまちづくり交付金（360万円）＝住民主体の元気な集落づくり、地域活性化などの活動に交付金を交付（上限20万円）
- ▼過疎バス対策（1,965万円）

## 産業振興課

- ▼鳥獣被害総合対策（202万円）＝イノシシ・ヌートリア、クマ対策として捕獲奨励・電気柵設置補助の強化
- ▼橋梁修繕（1,029万円）＝橋梁の長寿命化修繕策定計画に基づき、修繕。今年度は下菅橋を予定
- ▼改良住宅解体（500万円）＝長年入居者がいない改良住宅2戸を解体

## 健康福祉課

- ▼子ども手当支給（4,648万円）＝中学修了前の子ども1人につき月額1万3000円を支給。3歳未満は月額2万円
- ▼特別医療費助成（2,346万円）＝重度障がい者（身体・知的・精神）、小児（中学校修了前）などの医療費助成
- ▼健康増進（906万円）＝健康診査などや介護予防のほか、平成23年度から子宮頸がん予防接種費用を無償化

## 教育委員会

- ▼学校図書館嘱託員の配置（423万円）＝今年度から実施の保小中一貫教育の中で、町立図書館、小中学校、保育所の連携を図る
- ▼町村派遣指導主事配置（884万円）＝教育専門家を県から派遣。保小中一貫教育、家庭・地域の教育力向上を図る。
- ▼町民ミュージカル補助金（80万円）＝今年度10回目の記念講演。町内外に広く周知し盛り上げる
- ▼根雨小学校耐震工事（4,737万円）

## ▼一般会計歳入予算比較表

（単位：千円、△：減額）

科目	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度費（％）
町税	360,946	379,249	△ 18,303	△ 4.83
諸収入	57,465	75,426	△ 17,961	△ 23.81
繰入金	69,170	9,926	59,244	596.86
地方交付税	1,804,982	1,820,009	△ 15,027	△ 0.83
県支出金	263,575	243,705	19,870	8.15
町債	174,700	162,500	12,200	7.51
国庫支出金	107,887	123,920	△ 16,033	△ 12.94
その他①	48,601	52,787	△ 4,186	△ 7.93
その他②	84,699	82,767	1,932	2.33
合計	2,972,025	2,950,289	21,736	0.74

※その他①・②の内訳は3ページをご覧ください

## ▼一般会計歳出予算性質別比較表

（単位：千円、△：減額）

科目	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度費（％）
人件費	560,477	576,824	△ 16,347	△ 2.83
物件費	296,801	287,251	9,550	3.32
維持補修費	34,193	19,922	14,271	71.63
扶助費	191,761	177,602	14,159	7.97
補助費	833,202	839,130	△ 5,928	△ 0.71
普通建設事業費	138,623	39,231	99,392	253.35
災害復旧事業費	0	0	0	0.00
失業対策費	0	0	0	0.00
公債費	528,697	606,936	△ 78,239	△ 12.89
積立金	1,114	1,060	54	5.09
投資及び出資金	0	0	0	0.00
貸付金	25,450	31,450	△ 6,000	△ 19.08
繰出金	356,707	365,883	△ 9,176	△ 2.51
前年度繰上充用金	0	0	0	0.00
予備費	5,000	5,000	0	0.00
合計	2,972,025	2,950,289	21,736	0.74

※合計特殊出生率とは15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の出生率で、一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

**特別会計予算**  
総額は約14億3700万円  
福祉・保健・医療の充実など、重要な役割を担う

町の予算には、特定の事業を実施するために、一般会計とは別に経理する**特別会計**があります。現在、町には7つの特別会計があり、今年度当初予算の総額は14億3671万円です（内訳は表のとおり）。

なお、特別会計には、収支のバランスを取るため、一般会計からたくさんのお金を繰出していきます。水道や下水道施設の借金返済のピークは過ぎたものの介護保険や後期高齢者医療保険の給付に係る繰出金は高い水準で推移する見込みであり、一般会計を圧迫する大きな要因となっております。

町では、この繰出金を少しでも減らすため、公共下水道や農業集落排水への加入促進、介護予防や健康づくりによる医療費抑制に取り組んでいますので、ご協力ください。

## ▼特別会計の予算額比較表

（単位：千円、△：減額）

科目	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度費（％）
国民健康保険	431,024	494,317	△ 63,293	△ 12.80
介護保険	637,683	624,549	13,134	2.10
後期高齢者医療保険	53,974	58,410	△ 4,436	△ 7.59
簡易水道	120,742	112,435	8,307	7.39
公共下水道事業	124,152	135,227	△ 11,075	△ 8.19
農業集落排水事業	69,135	71,394	△ 2,259	△ 3.16
老人保健	0	858	△ 858	△ 100.00
合計	1,436,710	1,497,190	△ 60,480	△ 4.04

なお、老人保健特別会計は、平成20年3月に老人保健法は廃止になり、平成21年4月に後期高齢者医療制度に移行したため今年度当初予算額は0となりました。

**住民と行政の協働で  
安全・安心して暮らせる  
まちづくりを推進**

現在、日野町の高齢化率（総人口に占める65歳人口の割合）は40%と2.5人に1人。07%と、鳥取県の1.46%を下回り、過疎・少子高齢化が進み、福祉・保健・医療の充実、

教育環境の整備、高度情報化への対応など、「安心・安全なまちづくり」を推進するうえで、早急に対応しなければならぬ課題は山積みです。このような状況を踏まえながら、元気なまちづくり交付

金、若者定住化対策、子育て支援、高齢者にやさしいまちづくりに取り組みます。平成21年度以降は、収支のバランスも取れ、一時は1億8千万円程度だった基金も、今年度末には約9億円に

達する見込みです。しかしながら、実質公債費比率は依然国の早期健全化基準である25%を超える状況があと1、2年は続くことが予想されます。今後も歳入の安定確保に努め、皆さんとともに安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。